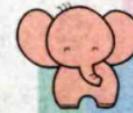


骨に良い食品・摂り過ぎを避ける食品



小象の「元気一マ行こう」

はなちゃん

多くん

生活習慣病防止へ！
市民と医療者の会

おすすめ	摂り過ぎを避ける
カルシウムを多く含む 乳製品・小魚・緑黄色野菜・大豆製品	リンを多く含む 加工食品・一部の清涼飲料水
ビタミンCを多く含む 魚類・きのこ	食塩
ビタミンKを多く含む 納豆・緑色野菜	カフェインを多く含む コーヒー・紅茶
たんぱく質 肉・魚・卵・豆・牛乳・乳製品など	アルコール ビールなら 750ml 以下 日本酒なら1.5合以下
果物と野菜	

骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015 をもとに作成

— 22 —

女性と骨粗鬆症予防

さて、いきなりクイズです。す。
日本には骨粗鬆症患者さんでは骨粗鬆症の患者さんでは骨粗鬆症はどの程度いるのでしょうか？

（答えは最後にあります）

骨粗鬆症（こつそしょう）とは、歩行中に転んだだけでは知らない間に骨折している場合もあり、身長が2センチ縮みます。

で骨折するほど骨が弱くなる病気です。特に大腿骨骨折（足の付け根の骨折）では、女性では閉経を迎える50代ごろから骨密度が急激に低下し

は女性ホルモン（エストロゲン）と密接に関わっており、骨密度が減り、骨密度が低下します。

その後寝たきりになる場合でもあります。また、脊椎骨（背骨）骨折後には腰が曲がって

歩きづらくなったり、内臓が圧迫されて胃腸障害が見られたり、さらには死亡率も高くなるという報告もあります。

まず適切なビタミンD濃度を予防するために、気をつけるべきことは何でしょうか？

富な食品を積極的に摂取する

（国際医療福祉大学医学部 謝・内分泌科准教授 吉田知彦）

ビタミンD維持、運動を

折をするまで特に自覚症状がないだけでなく、脊椎の骨折では知らない間に骨折している場合は要注意です。

骨の強度は骨密度と骨質にと古代ギリシャの歴史家ヘロドトスも記載したとおり、日本では知らない間に骨折している場合は要注意です。

骨粗鬆症予防に重要なことは骨粗鬆症予防に重要なことも骨粗鬆症予防に重要なことがあります。一日30分程度のウォーキングなどがお勧めですが、

関節や筋肉に問題があり移動に支障がある場合（ロコモティブ・シンドromeと呼ばれます）には転倒して骨折する恐れもあり、ご自分の体力に合わせた運動が推奨されます。

最近ではさまざまな骨粗鬆症治療薬が利用可能となり、骨密度低下が頭痛などの場合は医師にご相談ください。

でも、日本人の10人に1人が骨粗鬆症で、60代では2人に1人が骨粗鬆症を持っているとされています。しかし実際に医療機関で治療を受けている方は約20万人と少ないのが現状です。閉経後の女性は骨粗鬆症の危険性が高い方が多く、骨折を起こす前に検診（各自治体でそれぞれ骨粗鬆症検査を行なっています）で骨密度検査を受けられることをお勧めします。